

Japanese Red Cross Narita Hospital

眼科

成田赤十字病院では、白内障を中心に緑内障、糖尿病網膜症、ぶどう膜炎、加齢黄斑変性症、網膜静脈閉塞症などほぼすべての眼科疾患の診断と治療を行っています。手術に関しては白内障は年間700件以上を行い、そのほかに硝子体手術も行っています。また、当院には NICU もあるため未熟児網膜症の診療や治療も行っています。



眼科副部長

柿栖 将人

日本眼科学会認定眼科専門医

01 研修期間

1～2年

02 目的

眼科専門医の資格を得るのに必要な症例を経験すること

03 研修システムの特徴

初期研修医:多岐にわたる眼科疾患の特徴をつかむため外来診療、病棟業務を中心とした研修を積みます。
後期研修医:千葉大学眼科の後期研修プログラムの一環として、当科で1～2年間手術を中心とした研修を積み
みます。4年間の後期研修を終えると眼科専門医試験の受験資格が得られます。

04 到達目標(後期研修医)

- ・白内障手術(年間100件以上)
- ・緑内障の診断と治療(レーザー治療まで)
- ・糖尿病網膜症の診断と治療、糖尿病患者の教育
- ・加齢性黄斑変性症の診断と治療
- ・網膜静脈閉塞症の診断と治療
- ・蛍光眼底造影検査の読影と治療方針の決定
- ・糖尿病網膜症、加齢性黄斑変性症、網膜静脈閉塞症に対する硝子体注射の施行
- ・未熟児網膜症の病状把握

05 取得可能資格

眼科専門医(後期研修医として4年)

06 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	外来	手術	朝回診 手術	朝回診 外来	外来
午後	外来	手術	手術	外来	外来 未熟児診療、 カンファレンス